

新体育館建設基本計画（案）の策定状況について

現在、新体育館の規模・機能など基本的な考え方を示す『新体育館建設基本計画』の策定について、出雲市スポーツ振興審議会に諮問し進めています。

現段階での策定状況について、下記のとおり報告します。

記

1. 基本計画（6. 施設の構成と想定規模）比較表 資料①のとおり
2. 新体育館建設基本計画（案） 資料②のとおり
3. 参考
「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について
資料③のとおり

変更後(修正案)
<p>6. 施設の構成と想定規模</p> <p>6. 1. 実施種目 <u>市内の体育館において使用されている競技種目のほか、各種ニュースポーツ、レクリエーションスポーツに対応できるように配慮します。</u></p>
<p>6. 2. 施設の構成と想定規模 <u>県立浜山体育館との機能分担を踏まえ、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりの拠点にするとともに、市大会等が開催できるような施設とします。</u>また、体育館の利用方法として、<u>市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとしつつ、可能な範囲で、各種団体の会議、展示会、災害時の避難所等に活用できるように整備します。</u> なお、現時点では、新体育館の構造は<u>2階建てとし、延床面積は、廃止対象3体育館の延床面積の合計(約9,500㎡)以内を想定しています。</u></p> <p>(1)メインアリーナ メインアリーナは、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりのほか、市大会など一定規模の大会の開催を想定し、バスケットボール、バレーボールの公式コートが、それぞれ同時に2面確保できる広さとして、50m×40m(2,000㎡)程度とします。 天井高は、バレーボールを実施するうえで支障がない高さである12.5m程度とします。 <u>また、市民が利用しやすく、かつ、多くの方が利用できるよう、防球ネットを設置し、分割利用ができるようにします。</u> <u>観客席は、試合などの観覧・応援、選手の休憩・待機場所として利用することから、過去の市大会等の開催実績を踏まえ、2階に1,000席程度の固定席を確保します。また、それ以外にも観覧スペースを確保します。</u></p>

変更前(素案)										
<p>6. 施設の構成と想定規模</p> <p>6. 1. 実施種目 市内の体育館において、使用頻度の高い種目は以下のとおりです。これらの他、スポンジテニスやソフトバレーボール等の各種ニュースポーツ、レクリエーションスポーツに対応します。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>○バスケットボール</td> <td>○剣道</td> </tr> <tr> <td>○バレーボール</td> <td>○柔道</td> </tr> <tr> <td>○バドミントン</td> <td>○なぎなた</td> </tr> <tr> <td>○卓球</td> <td>○空手道</td> </tr> <tr> <td>○テニス</td> <td>○フットサル</td> </tr> </table>	○バスケットボール	○剣道	○バレーボール	○柔道	○バドミントン	○なぎなた	○卓球	○空手道	○テニス	○フットサル
○バスケットボール	○剣道									
○バレーボール	○柔道									
○バドミントン	○なぎなた									
○卓球	○空手道									
○テニス	○フットサル									
<p>6. 2. 施設の構成と想定規模 市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりの拠点にするとともに、市大会等が開催できるような施設を考えています。また、体育館の利用方法として、展示会や商談会、学会など多用途型の施設を考えていきます。 なお、現時点では、新体育館の延床面積は、廃止対象3体育館の延床面積の合計(約9,500㎡)以内を想定しています。</p> <p>(1)メインアリーナ メインアリーナは、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりはもとより、市大会など一定規模の大会の開催も勘案し、次の規模が適切と考えています。 ① アリーナの広さ・天井高 メインアリーナは、バスケットボール、バレーボールの公式コートが、それぞれ同時に2面確保できる広さが必要と考えており、50m×40m程度を想定しています。 天井高については、バレーボール競技に支障がないよう、12.5mは最低必要と考えています。 ② 観客席 観客席については、1,000席～1,500席程度を想定しており、2階に固定席を考えています。</p>										

基本計画(6. 施設の構成と想定規模)比較表

変更後(修正案)	変更前(素案)
<p>(2)サブアリーナ 市民の日常的なスポーツ活動やメインアリーナでの大会開催時の試合会場・アップ会場としての利用を想定し、サブアリーナを設置します。バスケットボール、バレーボールの公式コートが、1面確保できる広さとして、40m×25m (1,000㎡)程度とします。 天井高は、メインアリーナと同様に、バレーボールを実施するうえで支障がない高さとして、12.5m程度とします。 <u>また、メインアリーナと同様に、防球ネットを設置し、分割利用ができるようにします。</u> <u>2階に観覧スペースを確保します。</u></p>	<p>(2)サブアリーナ 市民の日常的なスポーツ活動やメインアリーナでの大会開催のことを考慮し、サブアリーナを設置したいと考えています。 ① アリーナの広さ・天井高 バスケットボール、バレーボールの公式コート1面が確保できる広さが必要と考えており、38m×25m程度を想定しています。天井高については、メインアリーナと同じ12.5mは最低必要と考えています。 なお、サブアリーナには、観客席を設ける必要はないと考えています。</p>
<p>(3)多目的室 エアロビクス、ダンス、ヨガ、軽運動など多様なスポーツニーズに対応できる部屋として、100人程度が収容可能な多目的室(スタジオ)を設置します。<u>この部屋には鏡を設置し、少人数利用にも対応できるように、分割利用できる構造とします。</u> また、各種会議や研修会などにも活用できるスペースとします。</p>	<p>(3)多目的室 各種会議や研修会、軽運動やダンス等、多様なニーズに対応するため、多目的室を設置したいと考えています。 広さについては、100名程度を収容できるものを想定しています。</p>
<p>(4)会議室・大会役員室 大会開催時には大会役員室として、大会開催時以外は各種会議や研修会に利用できる会議室を設置します。 <u>また、様々なニーズに対応できるように、分割利用できる構造とします。</u></p>	<p>(4)会議室・大会役員室 大会開催時には大会役員室として、大会開催時以外は各種会議や研修会に利用できる会議室を設置したいと考えています。</p>
<p>(5)ランニングコース <u>大会時のアップや特に雨天時、冬季など日頃の市民のスポーツ活動等に利用できるランニングコースをメインアリーナ2階に設置します。</u></p>	<p>(5)ランニングコース</p>
<p>(6)更衣室・ロッカー・シャワー室 利用者の利便性を向上させ、施設を快適に使用できるように、<u>メインアリーナやサブアリーナ、多目的室等の位置関係を考慮しながら、更衣室・ロッカー・シャワー室を1階に設置します。</u></p>	<p>(6)更衣室・選手控室 利用者の利便性を向上させ、施設を快適に使用できるように、更衣室を設置したいと考えています。また、大会開催時を想定し選手控室も設置したいと考えています。</p>
<p>(7)器具庫・倉庫 <u>各種競技に必要な備品等を収納するための器具庫・倉庫をメインアリーナやサブアリーナなど各諸室の配置を考慮しながら確保します。</u></p>	<p>(7)器具庫・倉庫</p>

←

基本計画(6. 施設の構成と想定規模)比較表

変更後(修正案)	変更前(素案)
<p>(8)キッズルーム・授乳室 子育て世代が安心してスポーツに取り組むことができ、子育てをしている親や子どもの交流を促進するために、授乳室や幼児の遊び場、待機場所となるキッズルームを設置します。</p>	<p>(8)授乳室・キッズルーム 子育て世代が安心してスポーツに取り組むことができ、子育てをしている親や子どもの交流を促進するために、授乳室や幼児の遊び場、待機場所となるキッズルームを設置したいと考えています。</p>
<p>(9)休憩スペース・物販コーナー 利用者が休憩でき、市民が憩う場として、<u>休憩スペースを確保します。休憩スペースには、自動販売機等物販コーナーの設置が考えられます。</u></p>	<p>(9)談話・休憩スペース 利用者が休憩でき、市民が憩うスペースとして、休憩室を設置したいと考えています。</p>
<p>(10)エントランスホール・ロビー <u>施設の顔として開放感があり、スポーツに関する資料展示など情報発信・情報収集機能も有するオープンなスペースを確保します。</u> <u>また、大会開催時には選手の待機場所として、またイベント開催時には展示スペースなど多様な利用ができるよう、可能な限り広い空間を確保します。</u></p>	<p>(10)エントランスホール・ロビー</p>
<p>(11)放送室 各種大会やコンベンション利用を想定し、放送室を設置します。 <u>また、様々な利用を想定し、全館及び部屋単位での放送ができるようにします。</u></p>	<p>(11)放送室 各種大会やコンベンション利用を想定し、放送室を設置したいと考えています。</p>
<p>(12)医務室 利用者のケガなどの処置を行うため、医務室を設置します。</p>	<p>(12)医務室 利用者のケガなどの処置を行うため、医務室を設置したいと考えています。</p>
<p>(13)事務室 施設の管理等を行うため、事務室を設置します。</p>	<p>(13)事務室 施設の管理等を行うため、事務室は必要だと考えています。</p>
<p>6. 3. 屋外機能 (1)駐車場・駐輪場 駐車場は、<u>1,000席程度の観客数を考慮し、400台程度を想定します。さらに隣接する島根県立大学出雲キャンパス(駐車場)の相互利用を検討します。</u> <u>また、駐輪場も設置します。</u></p>	<p>6. 3. 屋外機能 (1)駐車場 駐車場は、観客席の設置数にもよりますが、300台～500台程度と考えています。</p>

←

基本計画(6. 施設の構成と想定規模)比較表

変更後(修正案)
<p>(2)緑地・憩いの広場 <u>敷地内には、植栽など緑地帯を設け景観に配慮するほか、市民の憩い・やすらぎの場、大会開催時のウォーミングアップの場、またイベント時には体育館と一体的に活用できる賑わいの場となるスペースを確保します。</u></p>
<p>6. 4. 付随する機能 <u>新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとしつつ、可能な範囲で次のような機能を付加します。</u></p>
<p>(1)避難所機能 大人数の収容が可能なことから、避難所として位置付けます。 <u>避難所として必要となる、避難者の食糧や資機材及び備品等を保管する備蓄倉庫を確保します。</u> <u>なお、避難所運営にあたっては、看護・健康栄養学科を有する島根県立大学出雲キャンパスとの連携を検討します。</u></p>
<p>(2)コンベンション機能 <u>コンベンション機能については、大規模な会議や展示会などが開催できるようにします。また、ステージや大型搬入口の設置のほか、音響に配慮します。</u></p>
<p>(3)その他 <u>成人式や選挙開票所の利用についても検討します。</u></p>

←

変更前(素案)
<p>(2)緑地・憩いの広場</p>
<p>6. 4. 付随する機能</p>
<p>(1)避難所機能 体育館という大人数を収容可能な性質から、避難所機能について検討します。</p>
<p>(2)コンベンション機能 スポーツ以外の会議や展示会等でも利用できるよう、コンベンション機能について検討します。</p>
<p>(3)その他 市が主催する成人式や文化祭、各種会議等のほか、選挙の開票所として利用できるような設備を検討します。</p>

新体育館建設基本計画（案）

平成 31 年（2019）2 月
出雲市

目次

変更ナシ

1. はじめに.....	1
2. 出雲市の体育館の現状と課題.....	2
3. 新体育館整備の必要性.....	4
3.1. 新体育館整備の位置付け.....	4
3.2. その他の関連計画等.....	4
4. 建設予定地.....	6
5. 基本コンセプト.....	7
6. 施設の構成と想定規模.....	9
6.1. 実施種目.....	9
6.2. 施設の構成と想定規模.....	9
6.3. 屋外機能.....	11
6.4. 付随する機能.....	11

今回追加

7. 施設基本計画.....	13
7.1. ゾーニング・動線計画.....	13
7.2. コートレイアウト.....	14
7.3. 構造計画.....	14
7.4. 設備計画.....	14
7.5. 土地利用計画.....	14
7.6. アクセス.....	14
7.7. 概算事業費.....	14

未掲載

8. 運営方針.....	14
8.1. 管理運営方針.....	14
8.2. 事業手法.....	14
8.3. 事業スケジュール（案）.....	14

1. はじめに

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを目前に「するスポーツ」、「見るスポーツ」への関心が今まで以上に高まっています。

本市では、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち 出雲」をまちづくりの将来像とし、6つの基本方策の1つである「環境・文化都市の創造」において、スポーツの振興に取り組んでいます。

この方針のもと、平成 28 年（2016）5 月に『「夢を育み、人を結び、まちが輝く」スポーツ文化都市・出雲の創造』を基本理念とした「出雲市スポーツ推進計画」を策定しました。3つの基本目標である「(1) スポーツがあふれるまちづくり、(2) スポーツを担う人づくり、(3) スポーツを支えるネットワークづくり」により、計画的に諸施策を推進しています。

本市は、現在約 50 のスポーツ施設を有しています。スポーツ施設全体で年間 80 万人を超える利用者があり、市民の健康増進、スポーツ活動の場として活発に利用されています。しかし、市内のスポーツ施設の大半は、合併前の旧市町で整備されたもので老朽化が進んでおり、とりわけ築後 40 年以上が経過し、耐震性、安全性等に問題がある 3 体育館（出雲体育館、平田体育館、斐川第 2 体育館）については、廃止に向けた取組を行うこととなっています。

その一方、県内有数の 17 万都市となった本市にとって、人口規模に見合った市民のスポーツ活動の中心拠点がなく、市のスポーツ振興上必要であるとの声があります。市では、その声を踏まえて、新体育館の整備に取り組むこととしたものです。

新体育館は、本市のスポーツ振興や、各種イベント開催、スポーツツーリズムなど交流人口の拡大を図る施設として、多くの市民から期待されており、本市にとってのビッグプロジェクトとして注目を浴びる施設でもあります。また、今後開催が想定される国民体育大会（国民スポーツ大会）の競技会場としての役割とともに、健康増進、福祉（バリアフリー等）、経済（コンベンション機能）、避難所機能という視点も求められています。

以上を踏まえ、市民に愛され、親しまれ、利用しやすい体育館として整備すべく、その整備方針を新体育館建設基本計画として取りまとめたものです。

2. 出雲市の体育館の現状と課題

本市には、市立体育館、学校体育館（廃校となった学校体育館を含む）のほか県立浜山体育館（カミアリーナ）があります。

市立体育館では、各種大会や各競技団体の練習など、地域のスポーツ活動の拠点として多くの市民に、学校体育館では、小中学校区のスポーツ活動の拠点として主に地域住民に利用されています。

その一方で、県立浜山体育館（カミアリーナ）では、主に県大会をはじめ、中国大会、全国大会等の大規模な大会のほか、プロスポーツ等の会場として利用されています。

市立体育館については、表 2-1 のとおり、大部分が合併前の旧自治体において建設されており、配置にばらつきがあり、建築後の経過年数、施設規模も様々となっています。

施設規模については、出雲体育館、平田体育館及び斐川第 1 体育館が、人口規模の大きかった合併前の旧自治体の拠点体育館として整備されたため、他の体育館と比較して規模が大きくなっています。しかし、これらは旧自治体の人口規模におけるものであり、2 市 5 町が合併し、17 万都市となった本市にとって、各競技の市大会を開催するには、施設の規模に課題があります。一方で、多様化する市民ニーズに対応するうえで新たな機能も求められています。

また、本市には県立浜山体育館がありますが、土日祝日には中国大会や県大会等規模が大きい大会が集中し、ほとんど空きがない状態であり、市の拠点体育館としての役割を担うことは困難です。

こうした中、今後の公共施設のあり方については、少子高齢化に伴う人口減少など、社会環境の変化に対応するため効果的・効率的な施設運営に取り組んでいく必要性があり、体育館についても同様に考えていく必要があります。

また一方で、競技スポーツのほか、健康づくりや生きがいづくりを目的とした生涯スポーツなど、多様化する市民ニーズへの対応や、コンベンション機能や避難所機能など、多用途型施設のあり方について検討していく必要があります。

表 2-1 主な市立体育館の概要

名称	建築年	延床面積	階数	構造
① 出雲体育館	昭和 36 年	4,769 m ²	4 階	鉄筋コンクリート造
② サン・アビリティーズいずも	昭和 62 年	1,950 m ²	2 階	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造
③ 上塩冶スポーツセンター	平成 26 年	738 m ²	1 階	鉄骨造
④ 古志スポーツセンター	平成 17 年	1,779 m ²	2 階	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造
⑤ 出雲西部体育館	昭和 62 年	1,078 m ²	2 階	鉄筋コンクリート造
⑥ 平田体育館	昭和 43 年	3,063 m ²	2 階	鉄筋コンクリート造
⑦ 佐田スポーツセンター	昭和 52 年	1,817 m ²	2 階	鉄骨造
⑧ 多伎体育館	昭和 56 年	1,774 m ²	1 階	鉄筋コンクリート造
⑨ 多伎勤労者体育センター	平成 2 年	810 m ²	1 階	鉄筋コンクリート造
⑩ 湖陵体育センター	平成元年	1,297 m ²	1 階	鉄筋コンクリート造
⑪ 大社健康スポーツ公園	平成 16 年	805 m ²	1 階	鉄骨造
⑫ 斐川第 1 体育館	昭和 55 年	2,769 m ²	2 階	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造
⑬ 斐川第 2 体育館	昭和 44 年	1,725 m ²	2 階	鉄骨造
⑭ アクティィーひかわ体育館	平成 6 年	1,205 m ²	1 階	鉄筋コンクリート造
⑮ 県立浜山体育館 (カミアリーナ)	平成 15 年	10,178 m ²	2 階	鉄筋コンクリート造

3. 新体育館整備の必要性

市内体育館には前述のような課題があることから、本市のさらなるスポーツ振興を図ることや、多様化する市民ニーズに対応するためには「17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」としての規模と機能を持った新体育館整備が必要です。

また、新体育館建設については、「新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』」及び「出雲市スポーツ推進計画」において、次のとおり位置付けを進めていくこととしています。

3.1. 新体育館整備の位置付け

(1) 新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』（平成24年度～平成33年度）

新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』は、斐川町との合併を契機に策定された「出雲市・斐川町新市基本計画」を基本とし、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち 出雲」をまちづくりの将来像とし、これを実現するための6つの基本方策と4つの戦略プロジェクトを掲げています。

後期基本計画（平成29年度～平成33年度）では、基本方策「環境・文化都市の創造」において、スポーツの振興（スポーツがあふれるまちづくり、スポーツを担う人づくり、スポーツを支えるネットワークづくり）を柱としており、スポーツ環境の充実として、新体育館の建設に取り組むこととしています。

(2) 出雲市スポーツ推進計画（平成28年度～平成33年度）

出雲市スポーツ推進計画は、「21世紀出雲スポーツのまちづくり条例」に基づくものであり、かつ、新たな出雲の國づくり計画「出雲未来図」の下位計画に位置付けられます。

『夢を育み、人を結び、まちが輝く』スポーツ文化都市・出雲の創造」を基本理念とし、「1.スポーツがあふれるまちづくり／2.スポーツを担う人づくり／3.スポーツを支えるネットワークづくり」の3つの基本目標の下、スポーツの振興・発展を図るものです。

基本目標の1つである「スポーツを支えるネットワークづくり」の基本方針のもと、スポーツ環境の充実として、新体育館の建設に取り組むこととしています。

3.2. その他の関連計画等

新体育館整備にあたっては、次に記載した国のスポーツ基本計画や本市の上位関連計画に留意した基本コンセプト・基本計画を作成し、体育館の整備運営を行います。

- スポーツ基本法（平成23年6月 法律第78号）
- スポーツ基本計画（平成24年3月 文部科学省）
- 第2期スポーツ基本計画（平成29年3月 文部科学省）
- 第7期 出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
（平成30年3月 出雲市）

-
- 第2次出雲市健康増進計画・第3次出雲市食育推進計画
(平成30年3月 出雲市)
 - 第5期出雲市障がい福祉計画・第1期出雲市障がい児福祉計画
(平成30年3月 出雲市)
 - 出雲市地域省エネルギービジョン (平成20年2月 出雲市)
 - 第2次出雲市環境基本計画 (平成25年3月 出雲市)
 - 出雲市景観計画 (平成26年3月 出雲市)
 - 出雲市地域防災計画 (平成29年6月 出雲市)
 - 出雲市公共施設等総合管理計画 (平成28年3月 出雲市) 等

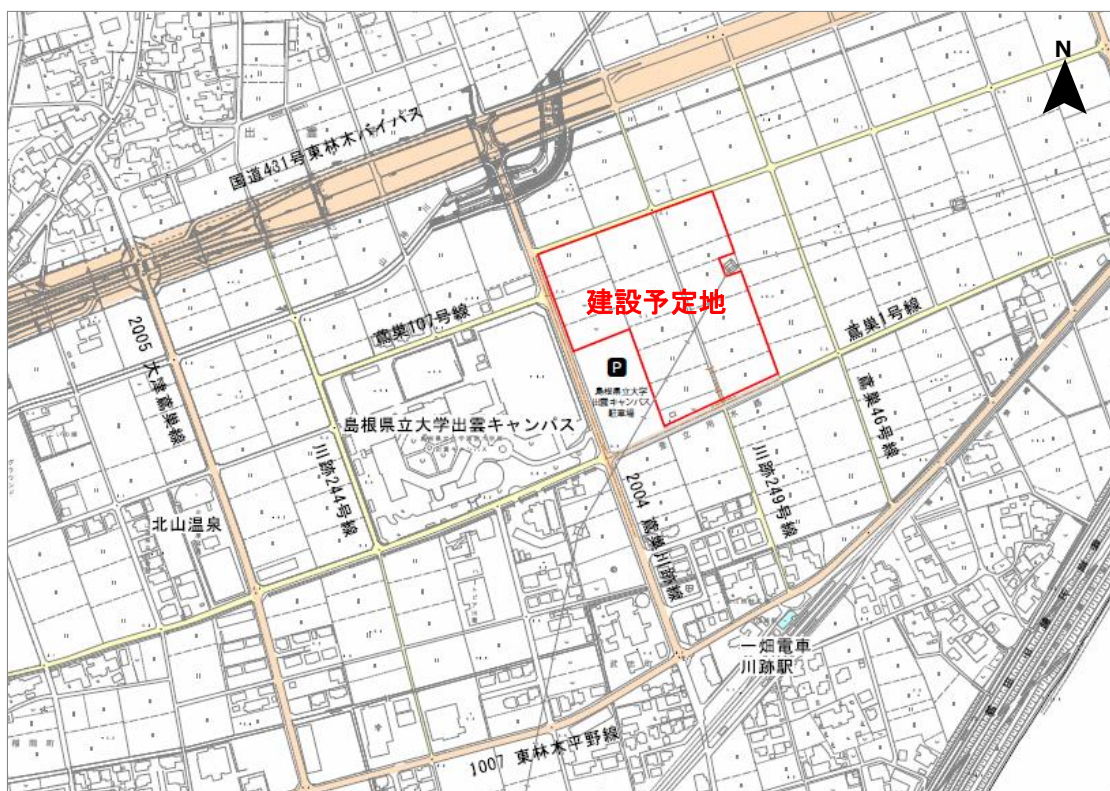
4. 建設予定地

新体育館の建設予定地は、市の中心部に近く、主要幹線道路からのアクセス道が整備されており、一畑電車の結節点である川跡駅も近くにあることから利便性が高く、また県立大学出雲キャンパスと隣接していることから、本大学とハード・ソフト両面での相互連携が期待できます。

また、新体育館は、各種大会等の開催を想定し駐車場を400台程度確保することや、北山や田園風景と調和した出雲らしさに配慮した景観形成に努めるほか、市民の憩い・やすらぎの場等を設けるなど、一定の敷地を確保する必要があります。本建設予定地周辺は農地が広がっており、敷地の確保が図りやすく、また将来的に必要なが生じた場合の追加拡張も可能です。

■ 建設予定地概要

所在地	〒693-0073 島根県出雲市西林木町地内
敷地面積	31,700 m ²
用途地域	用途地域指定なし
建蔽率	70%
容積率	200%
規制	<ul style="list-style-type: none">・ 景観形成地域・ 農業振興地域
災害発生時の想定	<ul style="list-style-type: none">・ 想定浸水高 0.5～3.0m (隣接する島根県立大学出雲キャンパスは指定避難所)
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none">・ 一畑電車 川跡駅から徒歩8分・ 出雲市役所から車9分



5. 基本コンセプト

以上のことから、新体育館は、市民が気軽にスポーツ、体力づくりができ、市大会等が開催できる、市の拠点体育館として整備します。

新体育館整備にあたっては、「出雲市スポーツ推進計画」（平成 28 年 5 月）の基本理念である『「夢を育み、人を結び、まちが輝く」スポーツ文化都市・出雲の創造』やその他の関連計画等の内容を踏まえ、次の 6 つを基本コンセプトとします。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 「スポーツをする」体育館(2) 「スポーツをみる」体育館(3) 「スポーツをささえる」体育館(4) 多用途使用に配慮した体育館(5) 人や環境にやさしい体育館(6) 景観に配慮した体育館 |
|--|

(1) 「スポーツをする」体育館

新体育館はプロスポーツや大規模な大会を行う県立浜山体育館との機能分担を行い、「17 万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」として子どもから高齢者まで、様々な世代の市民が主体となってスポーツをすることができる体育館として整備します。このことにより、スポーツをすることによる健康増進とメンタルケア、市民交流の機会の増加が期待できます。

また、身近な市民のスポーツ活動拠点として、多様化する市民ニーズへの対応や、市民がライフステージに応じ日常のスポーツや健康づくりに気軽に使用でき、また市大会など一定規模の大会開催が可能な体育館とします。

(2) 「スポーツをみる」体育館

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催もあり、スポーツが盛り上がりを見せています。スポーツの人を引き付ける力、影響する力は大きく、スポーツを観ることによりスポーツの楽しさを発見し、自らが「スポーツをする」機会を創出します。また、スポーツをする人だけでなく、観る人にも配慮した体育館とします。

(3) 「スポーツをささえる」体育館

学校や関係団体等、スポーツ大会開催等に携わる人々が情報発信できる場を設けることで、他の地域や総合体育館等とのネットワークの強化が期待できます。出雲市全体のスポーツを盛り上げる場のひとつとして、出雲市体育協会など、市民のスポーツ活動を支える人（団体）の拠点としての体育館とします。

(4) 多用途使用に配慮した体育館

市内には展示会や商談会などが開催できるコンベンション施設が不足していることや、全国的に大規模災害が頻発していることを踏まえ、新体育館では大空間を有する特徴を活かし、スポーツ以外にも学会や各種団体の会議、展示会等、さらに災害時の避難所など、可能な限り多用途に使用しやすい体育館とします。

(5) 人や環境にやさしい体育館

スポーツのみならず、市民活動の場として子どもから高齢者、障がい者、すべての人が使いやすい体育館である必要があります。バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入に努めるとともに、省エネルギー化に努めるなど、人や環境にやさしい体育館とします。

(6) 景観に配慮した体育館

建設予定地である県立大学出雲キャンパス周辺は、景観形成地域であり、「北山を背景とした出雲らしい田園風景と調和した新しいまちづくり」を基本目標に、地域が持つ豊かな景観の保全への取組を推進しています。このような出雲らしさに配慮しながら調和を図ったデザイン、駐車場の緑化等外構にも配慮した体育館とします。

6. 施設の構成と想定規模

6.1. 実施種目

市内の体育館において使用されている競技種目のほか、各種ニュースポーツ、レクリエーションスポーツに対応できるよう配慮します。

6.2. 施設の構成と想定規模

県立浜山体育館との機能分担を踏まえ、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりの拠点にするとともに、市大会等が開催できるような施設とします。また、体育館の利用方法として、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとしつつ、可能な範囲で、各種団体の会議、展示会、災害時の避難所等に活用できるように整備します。

なお、現時点では、新体育館の構造は2階建てとし、延床面積は、廃止対象3体育館の延床面積の合計（約9,500㎡）以内を想定しています。

(1) メインアリーナ

メインアリーナは、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりのほか、市大会など一定規模の大会の開催を想定し、バスケットボール、バレーボールの公式コートが、それぞれ同時に2面確保できる広さとして、50m×40m (2,000㎡) 程度とします。

天井高は、バレーボールを実施するうえで支障がない高さである12.5m程度とします。

また、市民が利用しやすく、かつ、多くの方が利用できるよう、防球ネットを設置し、分割利用ができるようにします。

観客席は、試合などの観覧・応援、選手の休憩・待機場所として利用することから、過去の市大会等の開催実績を踏まえ、2階に1,000席程度の固定席を確保します。また、それ以外にも観覧スペースを確保します。

(2) サブアリーナ

市民の日常的なスポーツ活動やメインアリーナでの大会開催時の試合会場・アップ会場としての利用を想定し、サブアリーナを設置します。バスケットボール、バレーボールの公式コートが、1面確保できる広さとして、40m×25m (1,000㎡) 程度とします。

天井高は、メインアリーナと同様に、バレーボールを実施するうえで支障がない高さとして、12.5m程度とします。

また、メインアリーナと同様に、防球ネットを設置し、分割利用ができるようにします。

2階に観覧スペースを確保します。

(3) 多目的室

エアロビクス、ダンス、ヨガ、軽運動など多様なスポーツニーズに対応できる部屋として、100人程度が収容可能な多目的室（スタジオ）を設置します。この部屋には鏡を設置し、少人数利用にも対応できるように、分割利用できる構造とします。

また、各種会議や研修会などにも活用できるスペースとします。

(4) 会議室・大会役員室

大会開催時には大会役員室として、大会開催時以外は各種会議や研修会に利用できる会議室を設置します。

また、様々なニーズに対応できるように、分割利用できる構造とします。

(5) ランニングコース

大会時のアップや特に雨天時、冬季など日頃の市民のスポーツ活動等に利用できるランニングコースをメインアリーナ2階に設置します。

(6) 更衣室・ロッカー・シャワー室

利用者の利便性を向上させ、施設を快適に使用できるように、メインアリーナやサブアリーナ、多目的室等の位置関係を考慮しながら、更衣室・ロッカー・シャワー室を1階に設置します。

(7) 器具庫・倉庫

各種競技に必要な備品等を収納するための器具庫・倉庫をメインアリーナやサブアリーナなど各諸室の配置を考慮しながら確保します。

(8) キッズルーム・授乳室

子育て世代が安心してスポーツに取り組むことができ、子育てをしている親や子どもの交流を促進するために、授乳室や幼児の遊び場、待機場所となるキッズルームを設置します。

(9) 休憩スペース・物販コーナー

利用者が休憩でき、市民が憩う場として、休憩スペースを確保します。休憩スペースには、自動販売機等物販コーナーの設置が考えられます。

(10) エントランスホール・ロビー

施設の顔として開放感があり、スポーツに関する資料展示など情報発信・情報収集機能も有するオープンなスペースを確保します。

また、大会開催時には選手の待機場所として、またイベント開催時には展示スペースなど多様な利用ができるよう、可能な限り広い空間を確保します。

(11) 放送室

各種大会やコンベンション利用を想定し、放送室を設置します。
また、様々な利用を想定し、全館及び部屋単位での放送ができるようにします。

(12) 医務室

利用者のケガなどの処置を行うため、医務室を設置します。

(13) 事務室

施設の管理等を行うため、事務室を設置します。

6.3. 屋外機能

(1) 駐車場・駐輪場

駐車場は、1,000 席程度の観客数を考慮し、400 台程度を想定します。さらに隣接する島根県立大学出雲キャンパス（駐車場）の相互利用を検討します。
また、駐輪場も設置します。

(2) 緑地・憩いの場

敷地内には、植栽など緑地帯を設け景観に配慮するほか、市民の憩い・やすらぎの場、大会開催時のウォーミングアップの場、またイベント時には体育館と一体的に活用できる賑わいの場となるスペースを確保します。

6.4. 付随する機能

新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとしつつ、可能な範囲で次のような機能を付加します。

(1) 避難所機能

大人数の収容が可能なことから、避難所として位置付けます。

避難所として必要となる、避難者の食糧や資機材及び備品等を保管する備蓄倉庫を確保します。

なお、避難所運営にあたっては、看護・健康栄養学科を有する島根県立大学出雲キャンパスとの連携を検討します。

(2) コンベンション機能

コンベンション機能については、大規模な会議や展示会などが開催できるようにします。また、ステージや大型搬入口の設置のほか、音響に配慮します。

(3) その他

成人式や選挙開票所の利用についても検討します。

施設構成と想定規模

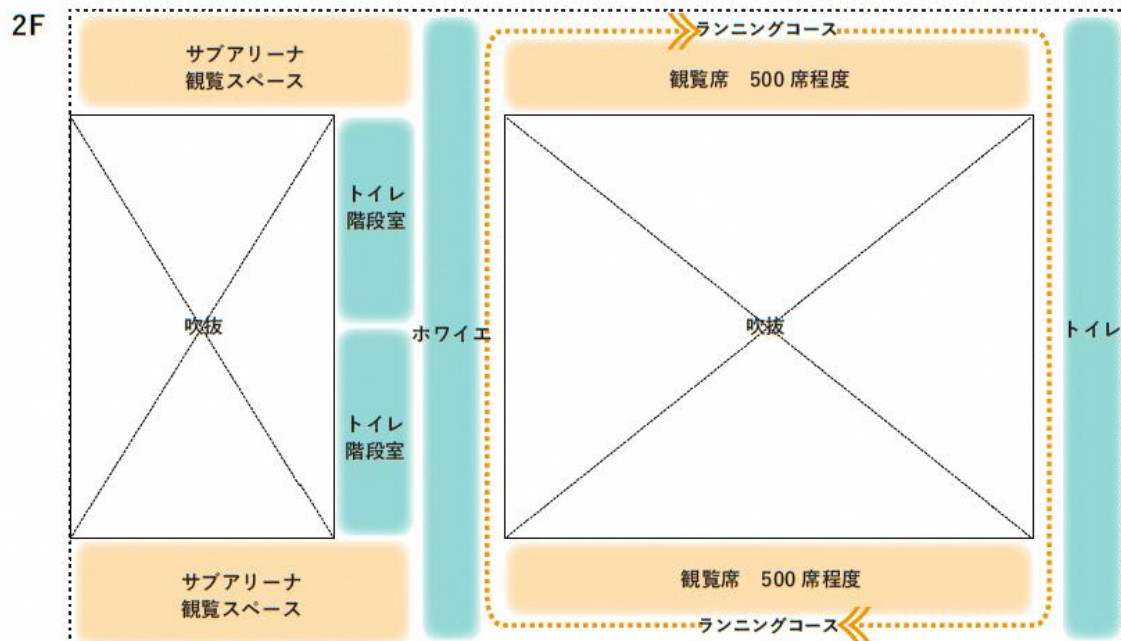
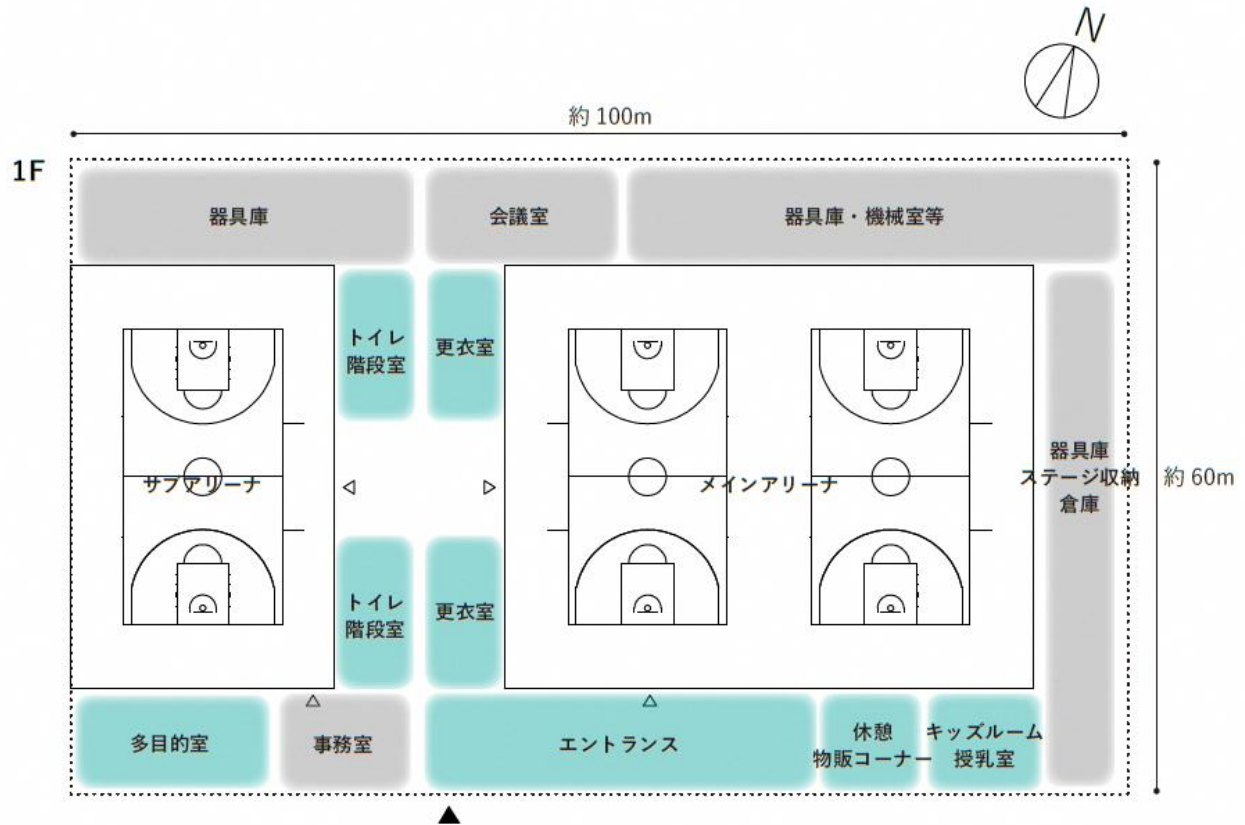
室名	想定規模等
メインアリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50m×40m (2,000m²) 程度 ・ バレーボール2面、バスケットボール2面、バドミントン10面 ・ 天井高 12.5m 程度 ・ 観客席 1,000 席程度
サブアリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40m×25m (1,000m²) 程度 ・ バレーボール1面、バスケットボール1面 ・ 天井高 12.5m 程度
多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100 人程度収容 ・ エアロビクス、ダンス、ヨガ、軽運動、各種会議や研修会などに利用
ランニングコース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃の健康増進や大会時のウォームアップに利用 ・ メインアリーナ2階に整備
更衣室・ロッカー・シャワー室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女各 100 m²程度 ・ メインアリーナやサブアリーナ、多目的室等の位置を踏まえ 1階に設置
器具庫・倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ メインアリーナやサブアリーナなどにバレーボールやバスケットボール、バドミントン等に使用される備品を収納
キッズルーム・授乳室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各 25 m²程度 ・ 授乳室や幼児の遊び場、待機場所となるキッズルーム
会議室・大会役員室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会開催時の大会役員室、大会開催時以外のスポーツ指導者やスポーツボランティアの各種研修や一般に利用できるに会議室
休憩室・物販コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動販売機等物販コーナーを併設した休憩スペース
エントランスホール・ロビー	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツに関する資料展示など情報発信・情報収集機能も有するオープンなスペース
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医務室、放送室、事務室等管理関係諸室、バリアフリー対応多機能トイレ、エレベーターなど ・ 冷暖房設備を完備
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 400 台程度を想定

7. 施設基本計画

7.1. ゾーニング・動線計画

新体育館の機能、各諸室のゾーニングは下図を想定しています。

※下図はイメージであり、今後詳細設計により変更となる場合があります。



- 凡例 -

管理エリア

共用エリア

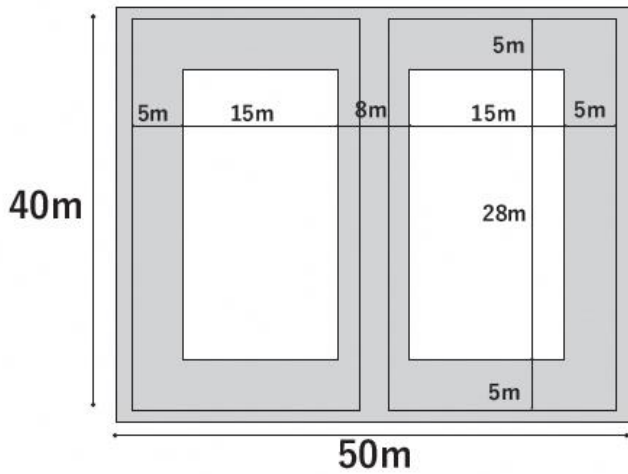
観覧エリア

7.2. コートレイアウト

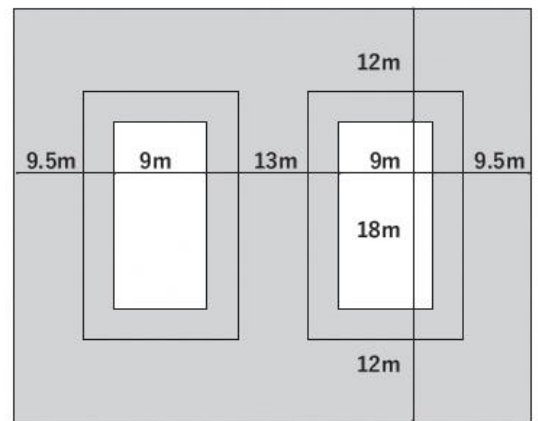
メインアリーナ、サブアリーナのコートレイアウトは、下図を想定しています。

◆メインアリーナ（球技）

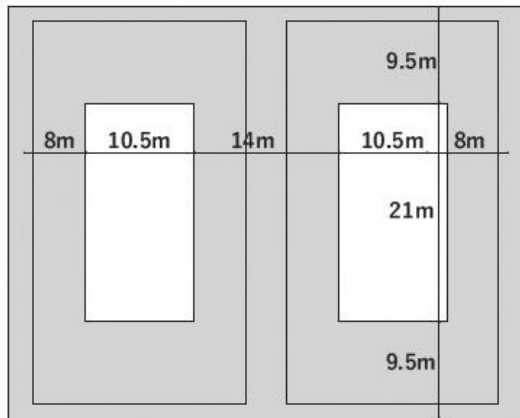
①バスケットボール2面（大会・一般利用）



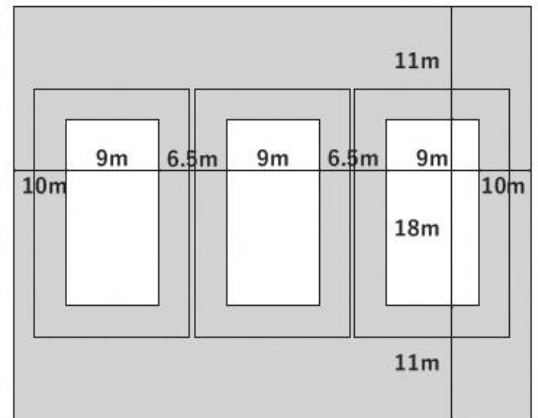
②6人制バレーボール2面（大会利用）



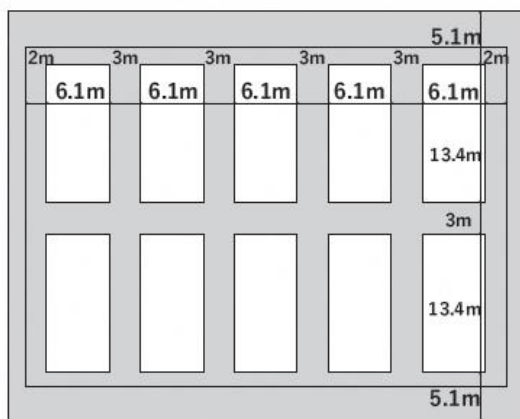
③9人制バレーボール2面（大会・一般利用）



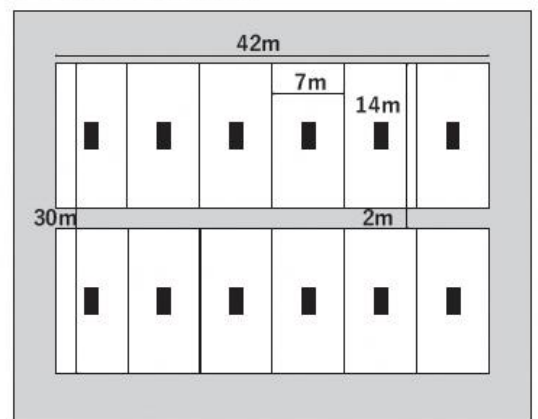
④6人制バレーボール3面（一般利用）



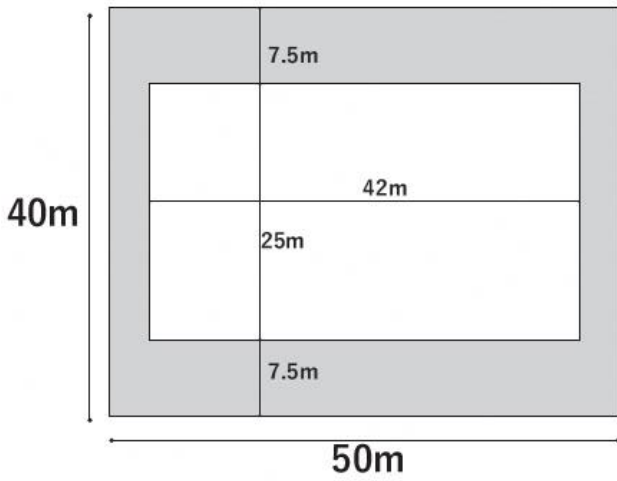
⑤バドミントン10面（最大面数）



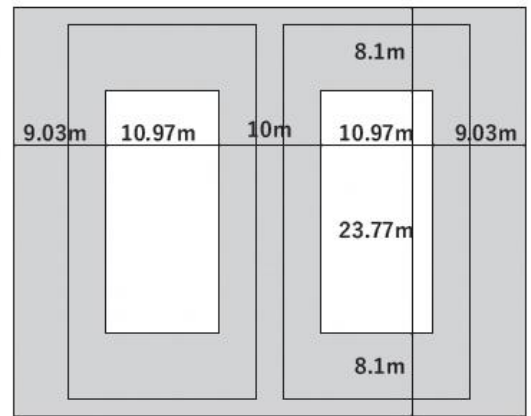
⑥卓球12面（最大面数）



⑦フットサル1面（大会・一般利用）

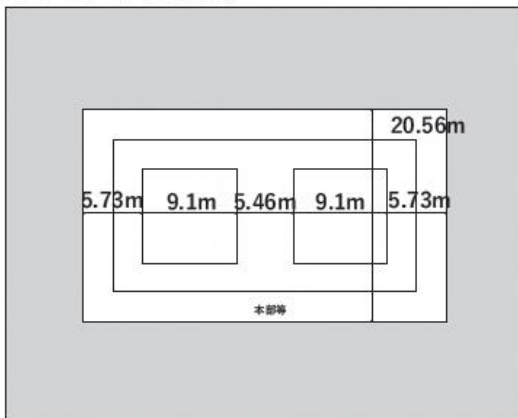


⑧テニス2面（大会・一般利用）

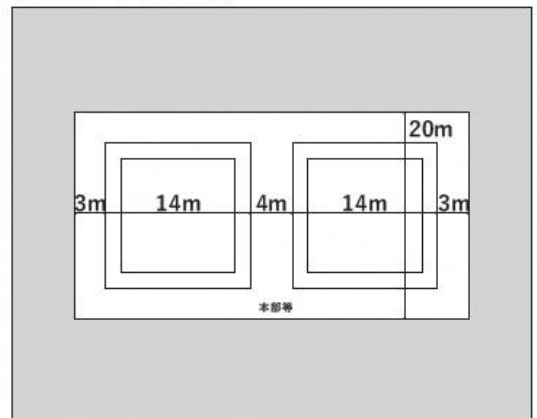


◆メインアリーナ（武道）

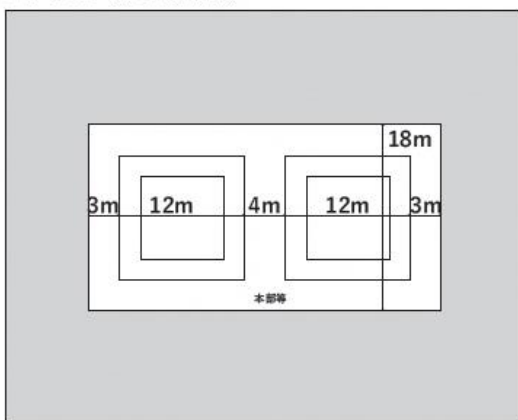
⑨柔道2面（大会利用）



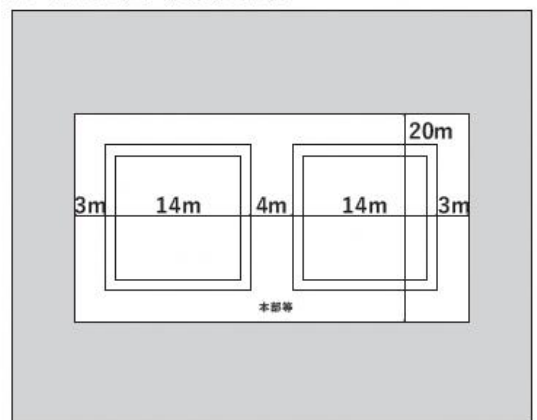
⑩剣道2面（大会利用）



⑪空手2面（大会利用）

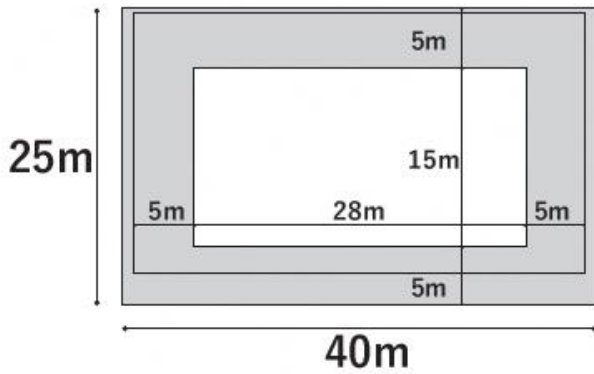


⑫なぎなた2面（大会利用）

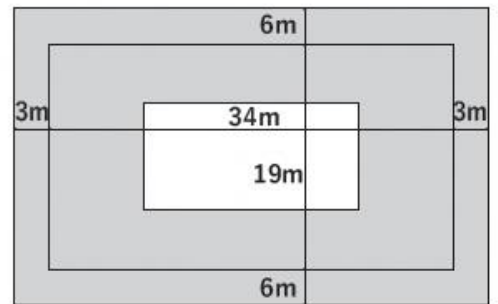


◆サブアリーナ（球技）

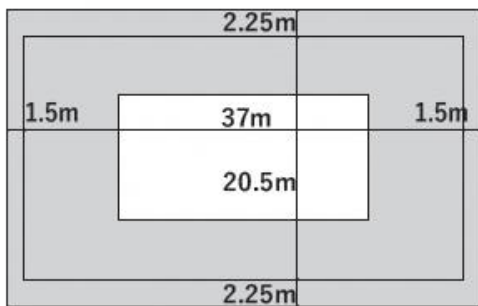
①バスケットボール1面



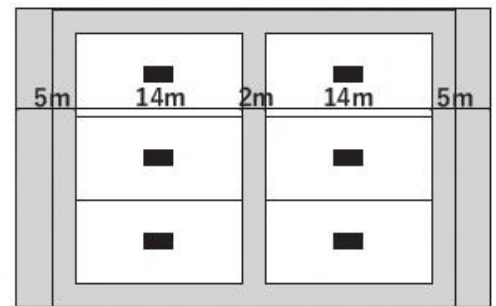
②6人制バレーボール1面



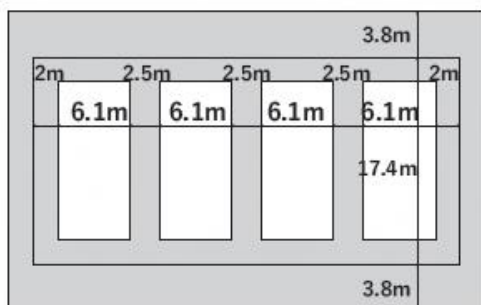
③9人制バレーボール1面



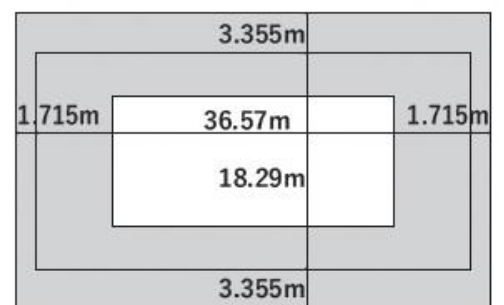
④卓球6面



⑤バドミントン4面

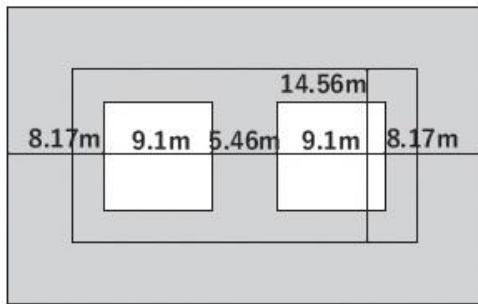


⑥テニス1面

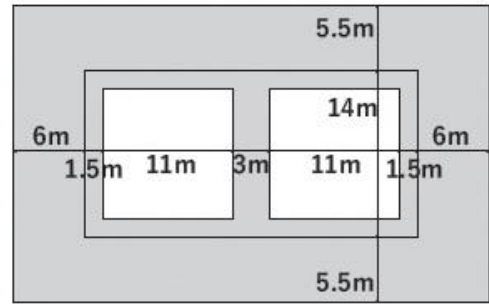


◆サブアリーナ（武道）

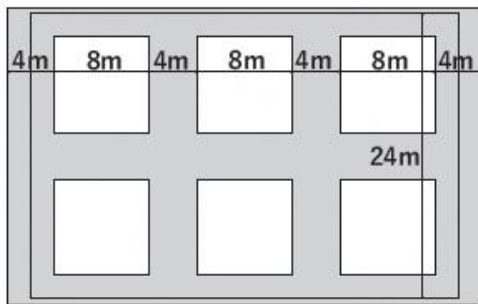
⑦柔道 2 面



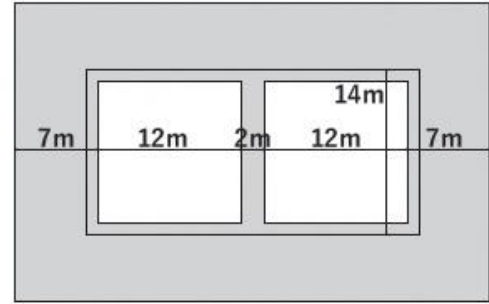
⑧剣道 2 面



⑨空手 6 面



⑩なぎなた 2 面



「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

章・項目	主な意見
2. 現状と 課題	<ul style="list-style-type: none"> ●20年・30年・40年先の本市のスポーツ人口の現状把握・分析が必要ではないか。 ●目先の昨日・今日・明日のスポーツを前提とした議論は意味がない。もっと先を見据えた検討・議論でなければいけない。 ●一部のスポーツをする人は必要かもしれないが、大多数の人からみて、新体育館は必要ではない。
5. 基本コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ●県人口が減少する中、スポーツを見る、スポーツを担える大規模な体育館を整備できるのは、出雲と松江しかない。ぜひ「スポーツを見る」に焦点をあてた施設を整備してほしい。 ●県中央に位置する出雲市にとって、スポーツの拠点にふさわしい、国際・全国大会が誘致できる体育館としてほしい。 ●人口減少の中、県内で大会開催が可能な施設を整備・運用できるのは、出雲と松江に限られる。市も財政事情が厳しいとは思いますが、「あと少し」を削ったために、長期的にみて使いにくい、スポーツ施設としての機能が最大限発揮しにくい施設になってはいけない。廃止3体育館の機能が、引き続き新体育館に反映され、良い体育館が整備されるよう、切に希望する。 ●「「スポーツをする・見る・支える」は、素晴らしいコンセプトだと思う。特に、見る・支える人、障がいスポーツをする人が、出掛けやすい体育館として頂ければ、もっとスポーツ人口が増えていくと思う。松江より出雲が大きくなる要素が大きいと思うので、できれば松江に負けない体育館を作してほしい。
6.1. 実施種目	<ul style="list-style-type: none"> ●ダンス（フォークダンス）、ヨガ、太極拳、幼児の運動会・運動遊び、親子運動を追加記入してほしい。 ●実施種目すべてのコートの配置図を示すべき。 ●現在の体育館での実施種目で充分 ●市民が気軽に遊びながらスポーツを体験する、近未来型インドアスポーツ「eスポーツ（レーザーシューティングなど）」を想定した施設にしてはどうか。 ●クライミング、ボルダリングが盛んになってきており、出雲でも数件施設が設置され、愛好者が増えてきているかと思われる。将来に向けた全国大会規模の誘致及び設置（館内外）が可能なスペース確保が必要だと思う。 ●「ボルダリング」、「eスポーツ」など、これから盛り上がる種目についても実施種目に取り入れてはどうか。 ●弓道は競技人口が少ないから実施種目に入らないのか。

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

	<ul style="list-style-type: none"> ●吹き矢も実施種目に入れてほしい。競技人口はあると思う。多目的室の利用で想定してはどうか。 ●体操競技も実施種目に加え、男女 10 種目の器具を設置してほしい。 ●ソフトテニス为主要な競技種目として明確に位置付けてほしい。 ●（追加競技）ソフトテニス、新体操、体操、レスリング、スポーツクライミング ●バドミントンを追加してほしい。 ●市の特色を示す出雲市ならではの種目、伸ばす種目に徹底して絞り込む。
<p>6.2.(1) メイン アリーナ</p>	<p>【規 模】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プロスポーツを誘致するうえでコートは確保できるものの、この面積ではフロアは狭い。 ●市大会・中国大会を想定し、メインとサブの広さは、廃止 3 体育館の合計 9,500 m²に近い広さとしてほしい。 ●市大会で浜山体育館を利用しているが、ほとんどが中体連・高体連の大会と思われる。新体育館は、市民が使いやすいようにした方がいい。 ●出雲体育館、平田体育館の利用者を合わせても不便のない規模が必要。 ●もし、剣道の国体会場となれば、11m×11mの広さで 4 面は必要。国体を誘致されるならば、それなりの観客席も必要だと思う。 ●バレーボール 6 人制コート 4 面（練習や小学校大会レベル）と、9 人制男子コート 2 面を要望する。 <ul style="list-style-type: none"> ※6 人制：小学生（8m×16m）、中学生（9m×18m） ※9 人制：男子コートのみ（10.5m×21m） ●メインアリーナは、バドミントン 10 面としているが、平日はたくさんの市民に使ってもらいたいので、10 面よりは 12 面にして、コート幅を狭めてもいいので考慮してほしい。 ●ソフトバレーのコート間は、広くしないといけないかも。 ●スポンジテニスは、通常のバドミントン競技のレイアウトだとコート間が狭く、危険なため、寸法を変更してほしい（1 面毎の間隔を広げる）。 ●スポンジテニスのコート間は 4m 以上確保してほしい。 ●市内の小・中学校及び一般の各種大会を開催するには、サブアリーナも含め 4 面が必要なので、メインアリーナは、テニス 3 面としてほしい。 ●ソフトテニスが 3 面を取れるようにしてほしい。アウトコート部分も一定程度の面積が確保できるといい。サブアリーナ 1 面と併せて 4 面とれば、大きな大会が誘致できる。

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

- ソフトテニスは、廃止3体育館で計4面（出雲1・平田2・斐川1）使用しており、新体育館ではメイン3面、サブ1面を要望する。3面利用のため、最低縦40m×横53mが必要。
- 250人のフォークダンス大会を受けるための広さを確保してほしい。
- 島根国体でどの競技を出雲で行うかわからないが、国体を意識した規模で検討が必要では。
- 出雲体育館と平田体育館の利用者を合わせても不便の無い規模が必要。
- トランポリン競技、新体操競技が可能な施設・手具を投げて大丈夫な高さの確保（約15m）。

【機能】

1. 区分利用

- 分割利用（1/4）のコート配置を検討してほしい（バレー・バスケット等複数の団体が利用できる）。
- 全面、半面、1/4、1/6、1/8で使えるようにしてほしい。
- 3面分割利用ができるようにしてほしい。

2. 観客席

- 廃止3体育館の延床面積の制約があるのであれば、観客席を少なくするのはやむを得ない。
- 全国大会規模だと、固定席は最低でも1,500席は必要。実際、カミアリーナで行われたバドミントンの試合では、1,500席では少ないと感じた。松江市総合体育館で行われているBリーグの座席数を参考にしたい。
- 入場料をとるプロスポーツを考えると観客席が少ない。

3. その他

- 週3回柔道教室をやっているが、その都度畳を敷くのは現実的には無理である。（無理を承知で）メインアリーナの半分は常時畳を敷いてほしい。
- メインアリーナとサブアリーナの配置について、浜山体育館はメインとサブがはっきり分かれている。松江市総合体育館は、メインとサブが連動していて使いやすい。
- 大分県別府市総合体育館は、メインとサブが隣接し、真ん中の壁をとると、つながる造りになっている。フリーに使えるので検討してほしい。
- メインアリーナとサブアリーナは、上履きのままですぐに往復できるよう、できるだけ近くしてほしい。
- 浜山体育館はコートラインを引いてない。競技団体と協議し決定した。
- コートラインについて、都度引くのは使い勝手が悪い。検討してほしい。

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

	<ul style="list-style-type: none"> ●防球ネットを設置してほしい。 ●体操男女 10 種目の器具の設置、設置が可能な床面金具の設置。
<p>6.2.(2) サブ アリーナ</p>	<p>【 規 模 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●松江市総合体育館の広さ（34m×41m）があれば、メインとサブで別々のイベントが開催できる。 ●松江市総合体育館や県立浜山体育館も稼働率が高いので、メインアリーナを少し小さくしてでも、サブアリーナはバスケット 2 面の広さ（松江と同規模）は必要。 ●最低バスケット 3 面は確保してほしい（合併後、中学校体育館も使っているが、チーム数が増加し市外チームを呼ぶことができない）。 ●サブアリーナは、平田体育館の広さ（1,355 m²）を確保してほしい。 ●バレーボール 6 人制コート 2 面を要望。 ●バドミントンは卓球と同じ 6 面配置、バレーボールは 2 面配置（サブが打てればよい）。 ●ソフトテニスのコート（1 面）は、最低縦 40m×横 23mが必要。 ●フットサルが可能な広さを確保してほしい。 ●コート外の広さも含め、テニスコート 1 面分の広さを確保してほしい。 <p>【 機 能 】</p> <p>1. 区分利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サブアリーナも半面、1/4 等の分割使用できるようにしてほしい。 ●普段使いを意識して、分割利用ができる配置としてほしい。 <p>2. 観客席</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浜山体育館のサブアリーナは若干観客スペースがある。大会があると保護者で一杯である。サブアリーナにも観客スペースを設けるべき（必ずしも席は必要でない）。 ●観客席を設置してほしい（松江市総合体育館を例に、2 段程度の階段席でよいので、両サイド長辺の 38mの部分へ設置してほしい）。 <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サブアリーナの床をスプリング機能にしてほしい（現在のサンアビのように）。 ●柔道の練習を週 3 回しており、畳は常設してほしい（毎回、畳の移動は不可能）。 ●サブアリーナの 2 階に道場を整備できないか。

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

<p>6.2.(3) 多目的室</p>	<p>【 規 模 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サブアリーナでは広いので、多目的室のような部屋は必要。1部屋では少ない。2、3部屋あるといい。 ●30人から50人が入って踊るスペースを確保してほしい。 <p>【 機 能 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多目的室に鏡を設置してはどうか（ダンス・ヨガ等）。 ●多目的室は、「部屋数」と「防音対策」に配慮してほしい。 ●「多目的室」と、「会議室・大会役員室」は同じものではないのか。複合的に使えばいいと思うが。 ●ボールダンスはできるのか。床にキズがつかない対策が必要。
<p>6.2.(4) ランニングコース</p>	<p>【 機 能 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ランニングコースを検討するとしているが、屋内が無理ならば、屋外にウォームアップができるスペースを確保してほしい。 ●体育館の中に設置する場合、小学生バレー大会では使用禁止にします。 ※人数が多く、怪我をすることが予想されるため
<p>6.2.(5) 更衣室・ロッカー・シャワー室</p>	<p>【 機 能 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シャワー室がほしい。
<p>6.2.(6) 器具庫・倉庫</p>	<p>【 規 模 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●収納スペースについて、バスケットゴール、柔道畳等が想定されるので広めに確保する必要がある。 ●器具庫・倉庫は、最大限の面積を確保してほしい。 <p>【 機 能 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体操競技器具が収納可能な器具庫と、入口・扉の確保。 ●畳保管庫と畳移動用ワゴンを設置してほしい（メインアリーナ用）。 ●器具庫は、メインとサブのどちらからも器具が出し入れできるように配置してほしい。
<p>6.2.(7) キッズルーム・授乳室</p>	<p>【 機 能 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋外は浜山公園とか出雲健康公園、室内は新体育館というすみわけを行い、雨天でも親子・友達で楽しめる室内アスレチックルームも考えてみては。

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

<p>6.2.(8) 会議室・大会役員室</p>	<p>【規模】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●会議室、大会役員室について、部屋数は決まっているのか。現在、出雲体育館の会議室を利用している。大・小部屋数は多いほうがよい。 <p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●競技団体の事務局は、個人の労力に負うところが大きく、大会の打合せ、役員会等の場所確保に苦勞しているため、団体が集まることのできる会議室を設置してほしい。 ●県立浜山体育館の大会役員室は使い勝手がよい。メインアリーナに接し、ガラス越しに大会の状況が分かる。
<p>6.2.(9) 談話・休憩スペース</p>	<p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自動販売機設置の提案を受けた各種応援自動販売機の設置をお願いする。 ●競技施設内での食事を禁止する場合、飲食業者のテナントまたは飲食スペースの配置。館外への施設も考えられると思う。 ●食事のできる場所。食堂などがあると良い。 ●物販コーナーがあると、大会などが行われる時に便利。
<p>6.2.(10) エントランスホール・ロビー</p>	<p>【規模】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エントランスホール・ロビーは、送迎者が来るため、広くとってほしい。 <p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エントランスホール・ロビーをアップ会場として使用できないか（メイン、サブ両方使用すると、ウォームアップができる場所がないため）。 ●ロビー等に功勞者や活躍している選手の記念品展示ができればよい。
<p>6.2.(11) 放送室</p>	<p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メインアリーナだけでなく、サブアリーナ、多目的室にも音響設備は必須。ダンスは音質も重要。 ●大抵の体育館は「音」が悪い。音響設備はとても重要。 ●放送設備は、各部屋・通路とリンクするようにしてほしい。選手の呼び出し放送が聞こえないエリアがあると、大会がスムーズに進まない。
<p>6.2.(12) 医務室</p>	
<p>6.2.(13) 事務室</p>	

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

<p>6.3.(1) 駐車場</p>	<p>【 規 模 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域スポーツの場合、利用者数+αの台数は必要なので、500台以上確保してほしい。 ●観客席に対し、想定する駐車場の台数（300台～500台）は少ないのでは。 ●2階建て（出雲大社参考）を検討してほしい。 ●電車・シャトルバスも考えられるため、想定台数が多いのでは。 ●競技大会ではバスで来る方もあるため、バス駐車場の確保も必要。 ●駐車場は300台位にして、公共交通機関の利用を促すようにすれば良い。 ●コンベンション機能を有する施設とする場合、駐車場が400台しかなく屋外を使用した商談ができない。大型搬入車輛も駐車できる大きな駐車場が必要と思われる。 ●最近の災害を見ても、車での避難や、避難所での炊き出しなども考慮すると、駐車場が少ない。 ●住宅街や県立大学に近接していることから、大渋滞を招くような駐車台数では困る。駐車場はもっと確保すべきではないか。 <p>【 機 能 】</p> <p>1. 駐輪場</p> <ul style="list-style-type: none"> ●駐輪場を設置してほしい（特に中高生が利用、近年サイクリストも増えている）。 ●場所をとるが、駐輪スタンドもあると良い。 <p>2. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●駐車場はいろいろな車種（大型・マイクロバス等）がマルチに駐車できるようにしてほしい。 ●入口までの通路への屋根も必要。 ●県立大学の駐車場を活用できないか。 ●舗装しないでキャンプ場にも利用できるなど、屋外機能をおもしろくして欲しい。 ●駐車料金を検討してはどうか。 ●駐車場の出入口付近は送迎車両通行のため、広めにとってほしい。 ●身体障がい者、高齢者の使用に配慮した駐車スペースの設置。
<p>6.3.(2) 緑地・憩いの場</p>	<p>【 機 能 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋外（憩いの広場）にバスケットゴールがあると学生が使用しやすい。 ●公園（ベンチ）、東屋、流れる川を取り入れた子どもの広い遊び場、遊具がほしい。

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場は、土日以外は閑散とするので、ゲートボールなどができるコート を想定すれば、平日の利活用が見込めると思う。近くにすばやく出雲もある ので、連携すれば大きな大会ができる可能性もでてくる。 ● 外周、芝生の広場にウォーキングコース（ジョギングコース）ができればよい。 ● ランニングコースを検討しているが、屋内が無理ならば、屋外にウ ォームアップができるスペースを確保してほしい。 ● 緑地・憩いの広場の外周にランニングコースがほしい。 ● 緑地にランニングコースを是非設けてほしい。 ● 大会を開催する場合、屋外でランニングや準備運動を行うことが多い。屋 外で簡単な運動ができる芝生のグラウンドを併設すべき（避難所での炊き出しや、 屋外での展示会にも活用できる）。
<p>6.4.(1) 避難所 機能</p>	<p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 避難所機能として浄化槽や下水道への本管直結の仮設トイレの設置を検 討する必要あり。 ● 災害時の空調設備は非常に重要。 ● 備蓄品の管理や自家用発電機の整備が必要。 ● 北海道地震で発生した「ブラックアウト状態」に備えるため、非常時用発 電をどう確保するのか。 ● 東海大学高輪キャンパスが整備した「ガスヒートポンプエアコン」は、停 電時でも自立して発電するため、災害時にも有効である。コストがかかると 思われるが、ぜひ検討されたい。 ● 避難所とする場合、災害時でも活用できる水・排水・電気などを最低7日 分確保しないとイケない。十分な設備を確保する必要あり。 ● 避難所の想定人数は。周辺の世帯数を算出し、新体育館に避難者を受け入 れる余裕があるか、ないかを予め想定したほうが良いと思うが。 ● 大学としても避難所運営には協力（生徒500人・先生70人）。健康栄養学科が できたので、その視点でのボランティア協力も可能。 ● 山陰中央新報に掲載された、災害時の県立大学との連携・協力（簡易ベッド などの資材提供、学生ボランティア派遣）は大事なことで、更に連携できることを考え ること。 ● 大規模な防災、避難所機能は現予定地では困難。最低限にとどめる。 ● 緊急支援隊や支援物資の集積基地としての機能。 ● 地震時の液状化など考慮すると、建物・駐車場など継続して使用できるよ う補強が必要。経費も高騰する。

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所からの病人等の緊急搬送をするため、ヘリポートも併設すべきである。 ●ヘリポート、防災備蓄倉庫。
<p>6.4.(2) コンベンション機能</p>	<p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内に1,000人規模の宴会場が無い。1,000人程度の宴会ができるようにしてほしい（出雲ドームでは寒かった）。 ●ライオンズクラブの総会（2,500人規模）をカミアリーナでやりたかったが、飲食ができないため、出雲ドームで開催したことがある。 ●「可動式ステージ」も、素案に明記してほしい。 ●展示場になったらスポーツ団体が活躍できなくなるので、体育館の機能は大事にしてほしい。 ●総花的に機能を取り込むことによって、結局虻蜂取らずとなることを懸念する。身の丈に合ったすっきりとしたスマートなことにしていきたい。 ●全ての市民がスポーツを通して学べる専用館として特色あるものとし、付帯、付随的なものはいらない。 ●あれもこれもやると、体育館の機能を損なうことをあえてしなくてもいいのでは。 ●市が主催するイベントで使用される程度でいいと思う。 ●多用途、多目的型ではなく、顕彰などを含むスポーツ専門館とする。 ●市民が常時使用できる体育館とし、イベントは最小限とすべき。 ●大きな学会開催には、小規模の分科会を開催されることが多く、サブアリーナ一つではどうしようもないものとなる。 ●どこまでの展示会を想定しているか。車両の乗り入れも想定しているか。 ●通常の体育館でできる展示会や商談会程度に抑えることが、将来の市民負担を軽減することになるのではないか（コンベンションを考えると、音響・照明・映像設備、避難設備、消防設備のほか、建物そのものの構造等にも影響がでることとなり、イニシャルコストがかかる）。
<p>6.4.(3) その他</p>	
<p>その他</p>	<p>【機能】</p> <p>1. トレーニングルーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●トレーニングルームを確保してほしい。クロスフィットトレーニングは、トレーニングの幅が広がり、いろんな種目で活用できると思う。

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

●フリーウエイト（バーベルを地面に落とす）ができる場所は出雲農林高校しかない。軽いものでいいので、地面に落とせるトレーニングスペースを検討してほしい。

●近年、トップレベルの選手がダンベル、バーベルでのフリーウエイトトレーニングの様子がテレビで放映されるのをよく見かける。島根国体に向けた競技力の向上として、フリーウエイトを主体としたスポーツジムの設置を検討してほしい。パーソナルトレーナーの確保は必須です。

●市民が気軽にスポーツに参加できるトレーニング器具（室）を設置してほしい。

●機器を常備したトレーニングルームの設置

●天井高を 12.5m確保するならば、空間に空きスペースができるので、地下に武道場（柔道・剣道）、2階にトレーニングルームの設置も考えられる。

2. 設備関係

●外でも使用できる音響設備。

●夜間でも利用できるような設備。

●車椅子利用者の中には、ベッドがないとおむつ交換ができない場合もあるので、「障がい者に配慮した多目的トイレ」についても、取り入れてほしい。

●温水の洋式トイレを多く配置してほしい。

●試合結果を速報でネット上へ掲載するため、無料 wi-fi があるとよい。

●ソーラーパネルを屋上に設置できないか。

3. その他施設整備関係

●将来構想として、多目的広場を有した総合運動公園の整備を検討してほしい。

●その他機能について、新体育館完成後、プールも併設したスポーツ公園として整備する構想はあるのか。

●体操専用場の建設（器具常設・ピット施設）。

●サイクリングコース、スケートボード、BMX、トレーニングルームを希望。

●壁打ち用半面テニスハードコート 3面とラインを設置してほしい。

●「消防団ポンプ操法の練習場所」を明記してほしい。

●ボルダリング施設・武道場があれば尚良しかと思います。

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

	<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上下履きの分別方法は、浜山公園体育館方式か、松江総合体育館の方式か。個人的には松江方式を希望する。 ●スポーツ団体も、ボランティアセンターの会員登録をしている。災害ボランティアにおいて、スポーツ団体とボラセンは密接な関係にあるので、新体育館にも「ボランティアセンター」を構えてほしい。 ●川跡駅からの動線を考える必要あり。 ●ロビー等に功労者や活躍している選手の記念品展示ができればよい。 ●大・小別の建物でお互いの屋根をつなぎあわせ、その屋根下で屋外行事ができればよい。 ●計画に県立浜山体育館や市立体育館とのネットワークの視点があると良い。 ●普段から人が集まる施設、収益を生み出すスポーツ拠点になればいいと思う。 ●全ての市民がスポーツを通して学べる専用館としての特色を持たせる。付帯、付随的なものは排除して分かりやすいものとする。 ●近接する「北山温泉」等の施設も合わせて活用できるように考えると、より効果的になるのではないか。 ●プロスポーツの誘致・開催
<p>7.1. 施設 基本計画</p>	
<p>7.2. 概算 事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●建設地が決定し、想定面積が 25,000 m²から 31,000 m²に増え、加えて景観形成地域や地盤の問題もでてくるため、事業コストが段々増えているのでは。 ●常に事業コストを抑える視点で取り組んでほしい。 ●本会議の中で、全体事業費は 50 億程度と答弁しているが、今後各種要望を取り入れ、設計したら 20 億から 30 億円増えたとなれば、大問題になる。執行部は、常に 50 億円を念頭に入れながら慎重に対応してほしい。 ●全体事業費は、市の財政事情を念頭にいたうえで、ある程度上限（基準）を設けてやるべきではないか。

「新体育館建設基本計画（素案）」に対する主な市民意見について

<p>8. 運営方針</p>	<ul style="list-style-type: none">● P F I 方式でも、指定管理者制度のどちらでもよいが、現在は、単に「管理費が安ければよい」だけの指定管理者が多くて、問題だと思う。県外の体育施設の指定管理者（事例：三次運動公園を管理するミズノ(株)）は、独自でスポーツ教室、健康教室、指導者研修等や大会等を計画し、何らかの情報発信を行っている。このような指定管理ができる県内業者は少ないと思うが、請負金額以上の、市民への還元が期待できる業者となるよう、整備手法を検討してほしい。● 企業が建設・運営する場合、当然コンベンション等で「利益」を求めると思うが、純粋にスポーツをやるのであれば、P F I はなじまないと思う。● 財政的には厳しいと思うが、今後の将来計画も示していただき、他の競技施設も検討するなど、新体育館を中心に、市のスポーツ推進の拠点となる役割を果たす地域となるよう、市には頑張ってほしい。● 冷暖房を行える部屋を限定するなど、将来のコストを軽減することが必要ではないか。● 大会も開催できる大きな体育館は魅力的だが、大きな体育館を作るとそれに見合ったライフサイクルコストがかかる。● 建設にかかった費用を使用料で賄うことはかなりの高額となり、市民の利用が遠のくのではないか。● コンベンションなど多機能とすると、冷暖房設備や遮音等に多額の経費と維持管理経費が必要。通常、冷暖房を使用しながらの大会はプロスポーツぐらい。● ネーミングライツの導入● 館内への広告設置を事前に検討し、設計時点で考慮すべき。● 利用料が面積で決められている。広くなり利用料が高くなると使いにくい。市民が使いやすい料金設定を考える必要がある。● 普段から人が集まる施設、収益を生み出すスポーツ拠点になればいいと思う。● 使用料金について、会議室も含め、市民が使いやすい料金設定をお願いする。● クラウドファンディングなどを活用するのも有効ではないか。また、施設維持管理費の節減を考慮した体育館を建設してほしい。
--------------------	--